

2010年度 事業報告書

(2010年4月1日から 2011年3月31日まで)

学校法人 創価学園

(関西創価小学校・中学校・高等学校)

法人の概要

創価学園は、創立者池田大作先生が提唱される「創価教育」の宣揚と、「平和・人権・環境」を柱とした『世界市民』の自覚と誇りを持ち世界・社会に貢献する人材育成のための教育を推進し、これまで数多くの逸材を社会に輩出してきました。

1967年6月19日に学校法人の認可を受け、1968年4月 東京(小平市)に中学校・高等学校を、1973年4月 関西(交野市)に中学校・高等学校を開校。1976年には北海道(札幌市)に幼稚園を設置。次いで1978年4月に東京(小平市)に小学校を、1982年4月に関西(枚方市)にも小学校を開校し、小・中・高の12年間にわたる創価一貫教育として、発達段階に即したきめ細やかな教育に取り組んでいます。

また、創価教育の提携校である創価大学・アメリカ創価大学をはじめ、香港・シンガポール・マレーシア・韓国(創価幼稚園)およびブラジル(創価幼稚園・創価小学校)に広がる世界的な創価教育ネットワークの原点としての責任と使命を担っております。

1. 設置する学校(学則定員)および研究所

【関西】 交野市・枚方市

関西創価高等学校(1,080名)

関西創価中学校(675名)

関西創価小学校(720名)

【事務所所在地】

大阪府交野市寺3丁目20番1号

2. 役員・評議員

【役員】

理事長
副理事長
常任理事
理事

2010年4月現在

理事12名

長谷川 重夫

池田 尊弘

城川 正敏

森田 修平

大場 好孝

尾崎 圭治

監事2名

大原 良満

忍田 和彦

西山 雄治

松村 光晃

佐藤 敏明

野村 繁敏

伊藤 博明

原田 光治

【評議員】

評議員

評議員30名

福島 啓充(以下30名)

3. 教職員の概要

2010年4月1日現在、()内は2011年4月現在

専任教諭: 108名(111名)

常勤講師: 2名(2名)

特任講師: 1名(1名)

非常勤講師: 29名(31名)

専任職員: 27名(27名)

平均年齢 (専任教諭・専任職員:135名)38.5歳

(昨年度 39.5歳)

事業の概要

【基本方針】

本年(2010年度)、創価教育80周年を迎え、創立50周年(2017年)に向け、創価学園が未来永劫に発展し続けるため、「3項目(プラン)」を柱としながら、教職員一人ひとりが自立的な責任感のもと、自由闊達な議論と検討を重ね、創価の魅力づくりに全力で取り組む。

(3項目(プラン):「創価一貫教育推進プラン」「安全・安心推進プラン」「学園運営推進プラン」)

・創価一貫教育推進プラン

「一人ひとりの学園生を大切にする」との創立精神に基づき、創価学園におけるすべての教育活動は、学園生(園児・児童・生徒)のもつ可能性をどこまでも信じ、内発性を重視し、豊かな創造性を触発して、共生の哲学を持つ人道的競争力のある人材育成へ積極果敢に挑戦することとする。

・安全・安心推進プラン

「学園生第一」との強い共通の思いに立ち、安全安心にして絶対無事故の学園生活を提供する。

・学園運営推進プラン

- 1.組織機構の活性化
- 2.施設設備の充実
- 3.財政基盤拡充
- 4.広報活動推進
- 5.情報システム推進

【2010年度事業概略】

創価教育80周年を迎えた本年度は、創立50周年(2017年)へ向けた「校舎・グラウンド総合整備事業」の象徴的な建物となる「創価学園 総合教育棟」が完成。「創価」の名に相応しい、魅力ある施設設備の充実を図りました。加えて安全安心対策による施設設備の補改修を行い、生徒・児童・園児が安心して学園生活を送れるよう整備を行いました。

教育面では小中高間の密接な連携を図り、さらには創価大学、アメリカ創価大学との連携を強化し、創価一貫教育の更なる充実に取り組みました。

生徒・児童・園児(保護者)への経済的支援として、2009年度までに拡充した家計急変世帯に対する奨学金制度を引き続き行い、更に入学時奨学金を新設、奨学金の更なる充実に努めました。また寮生・下宿生全員に昼食支援を引き続き行い、安心できる学園生活の提供を行っています。

以下、主な事業について報告します。

1. 校舎・グラウンド総合整備事業について

創価学園 総合教育棟の完成(総額:4,147百万円) 東京・高校

- ・耐震化の必要性から、既存の特別教室棟を解体し、その跡地に総合教育棟として、2009年10月に着工し、2011年3月15日に完成しました。
- ・鉄筋コンクリート造地下1階、地上6階建てで、1階にはエントランス、食堂、保健室、カウンセリング室、売店、事務室、応接室(4室)ほか、2階には図書館、職員室、教科ステーション、会議室(3室)ほか、3階には図書館、教科ステーション、PC教室、CALL教室、調理被服実習室ほか、4階には教科ステーション、生物実験室、化学実験室、中講義室ほか、5階には中講義室、和室ほか、6階には会議室、展示ホールほか、地下1階には倉庫を完備しております。今後更に正門、ロータリー等周辺整備も行い、創立50周年を荘厳する建物です。

2. 諸施設の整備・改修工事について

関西創価中学校高等学校 講堂トイレ改修工事(35百万円)

- ・講堂を使用する行事の際、女子トイレ(既存:和式7箇所)不足の状況が慢性化しているため、講堂展示室部分を全面的に撤去し、新たに女子トイレを追加設置し、対応しました。また、身障者用多目的トイレも新たに設置し、来校者に安心いただけるよう施設充実しました。

関西創価中学校高等学校 中学棟空調機改修工事(77百万円)

- ・経年劣化のため中学棟各教室の既存空調機を撤去し、新たに天井埋込型空調機を設置。それに伴い、天井並びに照明器具を改修し、教育環境を充実しました。

関西創価小学校 隣接土地購入(58百万円)

- ・従来駐車場が無く、教職員の車両を正門から校舎に向かう「世界の坂」に縦列駐車していましたが、隣接地について売却の申し出があったため、駐車場用地として購入、安全を確保しました。

3. 教育事業・一貫教育連携の充実について

関西学園 アースカムによる環境教育の推進

- ・NASA(アメリカ航空宇宙局)の教育プログラムへの参加による環境教育の推進、並びに生徒による学習成果の地域への発信を行いました。

創価大学・SUA(アメリカ創価大学)との連携強化

- ・小中高別の創大研修の実施や創大主催のアドバンスト・サイエンスセミナー、サイエンス・サマースクールへの参加など、教育交流強化を図りました。
- ・学園各校、創大の代表者による会議を開催。また創大教職大学院への小学校教員の派遣、並びに講師の派遣など、具体的な教育連携を図りました。

4. 国際交流について

多数の海外来客訪問

- ・2010年7月13日～15日、創立者へ「世界的人間教育の王者」証の授与並びに本校との交流を目的に来日されたオーストラリア・ティンブーンP-12校一行をはじめ、2010年度も多数の海外からの賓客をお迎えし、生徒、児童との交歓を通し、創価教育の宣揚並びに生徒、児童への国際交流啓発を行うことが出来ました。

5. 生徒・児童・園児支援について

奨学金の充実(50百万円)

- ・奨学基金(第3号基本金)の運用果実による池田育英奨学金や牧口教育基金会の奨学金をはじめ、従来の奨学金に加え、時限措置も含め、奨学金の一層の充実に取り組んでおります。特に世界的経済不況による家計急変世帯への支援奨学金も継続し、学園生活が安心して過ごせるよう、経済的支援の充実にも取り組んでおります。

寮生・下宿生への支援充実(19百万円)

- ・世界的経済不況を受け、寮生・下宿生全員の昼食支援制度を継続しております。

6. 生徒・児童・園児募集について

オープンキャンパス・学校説明会・入試説明会の開催

- ・ゴールデンウィークのオープンキャンパスをはじめ、各地で行った学校・入試説明会へ教職員を派遣し、積極的な啓蒙活動を行いました。

7. 広報・地域貢献活動について

学園メイトの啓蒙

- ・全国の小中学生を対象に、創価学園をより知ってもらうための「学園メイト」制度(無料)を2009年度に開始。更なる啓蒙活動を推進しました。年3回の「学園レター」やグッズを学園メイト登録者全員へ提供、小学校4～6年生の希望者には中学校入試問題集を、中学生の希望者には高校入試問題集をそれぞれ無料提供するなど、創価学園、創価教育の啓蒙並びに宣揚を図っています。

駅広告看板の設置(18百万円)

- ・学園最寄り駅をはじめ、近隣主要駅への広告看板を設置し、積極的な広報活動を行いました。

創価芸術展の開催

- ・創価芸術展を通じて、地域に開かれた行事を開催しています。(生徒・児童・園児が日頃の授業、クラブ活動で作成した絵画、書道、写真、陶芸等の作品を展示する企画。)
作品を通じ、地域・社会に本学園が取り組んでいる人間教育への深い理解と関心を広げることができました。
- ・2010年度は、創価大学での本展と北陸展、関西展、北海道展を開催。

<会場別鑑賞者数>

	会場	鑑賞者数
本展	創価大学	15,839名
北陸展	石川県	4,701名
関西展	関西学園	4,247名
北海道展	北海道	6,103名
合計		30,890名

音楽祭の開催

- ・講堂にて保護者をはじめ、地元・近隣の行政、教育関係者、協力者を招待し、小中高音楽系クラブの発表の場として、毎年音楽祭を開催しています。本年で関西学園としては第18回を数え、日頃の練習の成果を存分に発揮し、音楽を通じて創価教育への理解を広げる機会となっています。

8. 創価教育センターの活動について

出版・広報活動

- ・「創価学園ニュース」や「創価学園広報」の定期刊行など、積極的な広報活動を行いました。

創価教育研究所・野鳥自然環境研究所の活動

- ・各研究所ともに定期的な会合を開催し、研究活動の充実を図っています。
- ・全教職員による教育等の実践記録集「創価教育の実践」を作成し、創価教育を実践的に宣揚しています。

9. コンプライアンスの強化

内部監査の実施

- ・法令・学園諸規程等に則った適正な業務遂行と不正・事故の未然防止をねらいとし、公平且つ客観的に評価の上、学園発展のための有効な改善等の提言を行うことを目的に、内部監査を実施しています。
- ・監査室を中心に各課代表職員による監査団を組み、東京の職員が関西を、関西の職員が東京を、そして東西の職員が法人部門の監査を行う、創価学園独自のクロス監査方式を導入しており、準備段階を経て2007年度より本格的に取り組み、本年で4年目となります。
- ・コンプライアンスの強化並びに職員全員のスキル向上が図られ、当初目的プラスアルファの成果をあげています。

財務の概要

1. 財務状況の推移

「創価学園中長期経営改善計画(1993～2002年度)」に基づき、財務施策による消費収支の改善(消費収入超過を維持)を目指してきました。2005年度から計画した校舎の耐震補強工事(リニューアル工事)並びに2008年度からは創立50周年記念校舎・グラウンド総合整備事業等の支出を勘案しつつ、長期的フレームにおいて収支均衡バランスを継続的に保てる健全財政を目指しています。

2. 決算の概要

(1)貸借対照表の状況

資産の部では、学校用地取得(前年度比58,628千円増)があったものの、建物の除却(前年度比211,370千円減)などにより有形固定資産は減少しました。その他の固定資産が295,698千円増となっているのは、小学校体育館・プール・芸術総合棟建設に伴う特定資産(第2号基本金)の組み入れが主な要因です。流動資産のうち現預金が220,404千円減となっていますが、前述の第2号基本金設定に伴う特定資産化が主な要因です。

負債の部では、流動負債において、前年比退職人数減少に伴い、期末未払金となる退職金が大きくマイナス(前年度比93,461千円減)となったため減少しています。

基本金については、主に学校用地58,628千円、中学棟空調改修工事61,053千円などを組み入れ、2号基本金へ340,000千円組み入れました。また、新月見寮渡り廊下工事ほか75,890千円をはじめとする除却を行い、計455,521千円の組入れとなりました。

(2)収支計算書の状況

学生生徒等納付金収入は、小学校において、授業料値上げを行い(原則として3年に1回)、前年比17,869千円増となりました。

寄付金収入は、厳しい経済不況の影響の中、前年比94,722千円の増加となりました。

補助金収入は授業料軽減補助金など多くの補助金を受領していますが、小学校・中学校の経常費補助金については年々減少(前年度比6,796千円減)しております。

人件費支出において、教職員が暫時定年退職を迎えておりますが、今年度は資金収支での退職金支出は、26,703千円となりました。その補充については、教員数枠(107名)を定めながらも、教育の充実を更に図るための各種施策を含め、中長期的展望に立った人事計画を検討し推進しています。

経費支出については、生徒(児童・園児)第一、予算先行主義、シーリング予算(枠決め予算)を徹底し、教育内容の充実を図り、無駄を省くよう努力しています。

3. 決算報告

(1)貸借対照表

(単位:千円)

	本年度末	前年度末	増減
固定資産	15,877,735	15,843,428	34,307
流動資産	1,347,005	1,639,638	-292,633
資産の部合計	17,224,740	17,483,066	-258,326
固定負債	335,725	322,888	12,837
流動負債	207,347	297,705	-90,358
負債の部合計	543,072	620,593	-77,521
基本金の部合計	20,615,231	20,159,711	455,520
消費収支差額の部合計	-3,933,563	-3,297,238	-636,325
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	17,224,740	17,483,066	-258,326

(2)収支計算書

資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	関西創価高等学校	関西創価中学校	関西創価小学校	総額
学生生徒等納付金収入	547,866	420,482	330,409	1,298,757
手数料収入	8,751	11,881	5,446	26,078
寄付金収入	174,759	112,792	122,827	410,378
補助金収入	368,616	126,031	95,886	590,533
資産運用収入	54,109	18,956	16,714	89,779
資産売却収入	208,510	0	0	208,510
事業収入	98,445	18,292	2,791	119,528
雑収入	3,054	8,287	21,154	32,495
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	73,124	44,000	12,240	129,364
その他の収入	616,479	41,067	30,250	687,796
他部門繰入金収入	905,965	18,298	23,925	948,188
資金収入調整勘定	77,153	50,195	32,287	159,635
前年度繰越支払資金	1,503,723	0	0	1,503,723
収入の部合計	4,486,248	769,891	629,355	5,885,494

支出の部	関西創価高等学校	関西創価中学校	関西創価小学校	総額
人件費支出	702,085	328,894	307,880	1,338,859
教育研究経費支出	259,220	236,742	174,516	670,478
管理経費支出	224,159	73,839	35,690	333,688
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0
施設関係支出	53,797	86,602	70,203	210,602
設備関係支出	20,210	13,299	17,785	51,294
資産運用支出	733,548	0	340,000	1,073,548
その他の支出	60,212	44,577	35,713	140,502
他部門繰入金支出	826,630	0	0	826,630
資金支出調整勘定	10,591	4,368	28,467	43,426
次年度繰越支払資金	1,283,319	0	0	1,283,319
支出の部合計	4,152,589	779,585	953,320	5,885,494

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	関西創価高等学校	関西創価中学校	関西創価小学校	総額
学生生徒等納付金	547,866	420,482	330,409	1,298,757
手数料	8,751	11,881	5,446	26,078
寄付金	177,400	113,688	123,447	414,535
補助金	368,616	126,031	95,886	590,533
資産運用収入	54,109	18,956	16,714	89,779
資産売却差額	8,560	0	0	8,560
事業収入	98,445	18,292	2,791	119,528
雑収入	3,052	8,286	3,777	15,115
帰属収入合計	1,266,799	717,616	578,470	2,562,885
基本金組入額合計	0	49,816	414,905	464,721
消費収入の部合計	1,266,799	667,800	163,565	2,098,164

消費支出の部	関西創価高等学校	関西創価中学校	関西創価小学校	総額
人件費	714,071	334,175	287,474	1,335,720
教育研究経費	474,922	374,701	246,326	1,095,949
管理経費	290,199	95,851	38,343	424,393
借入金等利息	0	0	0	0
資産処分差額	5,360	966	1,592	7,918
徴収不能引当金繰入額	569	0	0	569
消費支出の部合計	1,485,121	805,693	573,735	2,864,549
当年度消費収支超過額	218,322	137,893	410,170	766,385
前年度繰越消費収支超過額	2,584,942	1,118,598	406,304	3,297,236
基本金取崩額	9,200	0	0	9,200
他部門繰入金収支	78,900	18,032	23,925	120,857
翌年度繰越消費収支超過額	2,715,164	1,238,459	20,059	3,933,564

(3)主な財務比率比較

比率名	算式	本年度	前年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	-11.8%	-3.1%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	136.5%	118.2%
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	50.7%	47.7%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	52.1%	48.4%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	42.8%	39.1%
管理経費支出	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	16.6%	15.4%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	649.6%	550.8%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金 1}}$	3.3%	3.7%
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金 2}}$	96.8%	96.5%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	34.7%	35.6%

1 自己資本 = 基本金 + 消費収支差額

2 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

(4)その他

有価証券の状況

(単位:円)

計上科目	B / S価額	時価	摘要
有価証券	2,158,917,480	1,913,517,000	
学園運営費引当特定資産	100,000,000	89,824,000	
計	2,258,917,480	2,003,341,000	

寄付金の状況

(単位:円)

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
保護者寄付金	保護者	49,958,900	
一般寄付金(保護者寄付金除く)	協力者	139,943,672	
指定寄付金	企業・団体ほか	85,890,000	
特別寄付金(指定寄付金除く)	卒業生ほか	134,586,085	奨学金資金ほか
現物寄付金	協力者	4,156,456	書籍・図書カードほか

補助金の状況

2010年度も経常費補助金をはじめ、多くの補助金を受領しています。

(単位:円)

	本年度	昨年度	差 額
補助金収入	590,533,404	614,430,180	23,896,776

<内訳>

	本年度	昨年度	差 額
国庫補助金	100,000	7,671,000	7,571,000
大阪府補助金	588,794,604	601,518,280	12,723,676
京都府補助金	0	816,000	816,000
兵庫県補助金	980,000	3,685,000	2,705,000
奈良県補助金	540,000	621,100	81,100
三重県補助金	118,800	118,800	0

収益事業の状況

売店(物品販売業)を行っており、その状況は次の通りです。

<貸借対照表>

(単位:円)

	2008年度末	2009年度末	本年度末
流動資産	39,734,123	40,131,152	40,636,293
固定資産	70,020	70,020	70,020
資産合計	39,804,143	40,201,172	40,706,313
流動負債	37,765,184	38,785,290	39,922,885
固定負債	0	0	0
負債合計	37,765,184	38,785,290	39,922,885
純資産合計	2,038,959	1,415,882	783,428
負債・純資産合計	39,804,143	40,201,172	40,706,313

<損益計算書>

(単位:円)

	2008年度末	2009年度末	本年度末
売上高	42,752,825	38,259,923	36,795,020
売上原価	29,806,136	26,711,103	26,599,015
販売管理費	9,766,740	9,478,301	9,691,315
営業外損益	1,129,010	899,806	879,738
特別損益	2,270,000	1,554,443	601,000
(うち、学校会計への繰入金)	(2,270,000)	(1,395,000)	(601,000)
当期純損益	2,038,959	1,415,882	783,428

財 産 目 録

平成 2 3 年 3 月 3 1 日

(単位 円)

資産の部		
科 目	内 容	貸借対照表評価額
固定資産	土地、建物等	15,877,735,371
流動資産	現金預金、未収入金等	1,347,004,651
資産の部合計		17,224,740,022

(単位 円)

負債の部		
科 目	内 容	貸借対照表評価額
固定負債	長期未払金、退職給与引当金等	335,725,387
流動負債	未払金、前受金等	207,347,045
負債の部合計		543,072,432

差引の部 (資産総額 - 負債総額)		
科 目	内 容	貸借対照表評価額
差引正味財産		3,933,563,793
正味財産内訳		
第 1 号基本金		20,116,231,383
第 2 号基本金		340,000,000
第 3 号基本金		0
第 4 号基本金		159,000,000
消費収支差額		16,681,667,590

監査報告書

平成23年5月20日

学校法人 創価学園
理事会
評議員会 御中

学校法人 創価学園

監事 尾崎圭治



監事 松村光晃



私たちは、学校法人創価学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第17条の定めに基づいて同学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び収益事業に係る貸借対照表、損益計算書）を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは学校法人創価学園の平成23年3月31日現在の財産目録及び計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い、学校法人の財産及び資金・消費収支の状況を正しく示しているものと認めます。又、学校法人の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は、認められません。

以上